

岐阜県立益田清風高等学校

学校長 今井 一三

学校住所 岐阜県下呂市萩原町萩原326-1 電話 0576-52-1021

1 会議の名称 益田清風高校について語る会（令和2年度第1回）

2 会議の構成 委員 小出 義彦 元下呂小学校長
島崎ひとみ 萩原スポーツクラブ副理事
布目美智男 山喜建設（株）社長
皆越真佐代 NPO飛騨小坂200滝
向野 優子 NPOみらいろ理事長

（委員名は五十音順）

学校側 今井 一三 校長
近藤 和彦 教頭
藤守 学 教頭
金山 実直 事務長
可知 嘉文 教務主任
石丸 浩国 生徒指導部長
上田 界堂 進路指導部長

3 会議の目的 学校の運営について、地域の学校関係者から幅広く意見を聞き、地域社会からの理解・協力を得ながら、開かれた特色ある学校づくりを推進するため。

4 会議の開催 令和2年6月 コロナウィルス感染防止のため書面開催
委員5人と学校側7人

5 会議の概要

（1）テーマ 本校の教育活動について

- 意見1 学科での学びが細分化され、生徒たちはより目標をもって取り組めるようになったと思う。仕事を体験したり、もの作りをしたりするなど、義務教育ではできなかった活動も多くみられ、生徒たちの意欲がわくことを期待している。課題を設定し研究することで生徒の力がつくので、そのような機会を多くもってほしい。
- 意見2 多くの学科や系列に分かれていて、多くの選択肢があり、専門的なことを学べる施設も充実しているのがとてもよい。
- 意見3 マニフェストは、前年度からの変更部分が明確にわかるようにしてもらいたい。進路や資格取得などにおいて、早くから目的をもって、自己の特性や能力に合った活動ができるとよいのではないか。
- 意見4 校長が示す「地域とともに歩む」は極めて重要な今日的課題である。小中学校でも新学習指導要領を踏まえて「ふるさと学習」に重点を置き、学校運営協議会の主体的な働きと連動している。保育園でも地域に出かけ、地域の方と触れ合う体験を多く取り入れている。園小中高と一貫して取り組むことが大切であると感じる。
- 意見5 各学科で1年次は共通カリキュラムを学び、2年次から希望に合わせて選択するという形はとてもよいと思う。1年次で自分のやりたいことを明確にし、進路を具体的に考えられるような指導をお願いしたい。

（2）テーマ 新型コロナウイルス感染症への対応について

- 意見1 コロナ禍だからこそできることを生徒が考え実行していくことが大切ではないか。それが人とコミュニケーションをとり、つながることである。オンライン会議システムやSNSを効果的に活用するなど、各学科で、今だからこそ本当に役に立つことは何か、生徒の柔軟な発想ですごいことが考えられるのではないか。
- 意見2 臨時休業期間中、町で生徒の姿を見かけることもなく指導が行き届いていると感じた。
- 意見3 校内、部活動、公共交通機関での通学、学校外での3密対策が必要だが、学校での対策を統一して徹底すれば、家庭や地域にも広まるのではないか。オンライン学習に慣れることで、今後社会に出てもすぐに、テレワーク等に適応できるのではないか。
- 意見4 校長は大変な決断の連続であったのではないか。命にかかわることなので、やりすぎくらいの対策が妥当ではないか。学校として自信をもって感染症対策を進めていただきたい。協力できることがあれば支援・応援したい。
- 意見5 休校中はオンライン授業で対応したと聞いた。学習の遅れ等も不安であるが、命には代えられないため、今後もオンライン授業など迅速な対応をしていただきたい。

(3) テーマ キャリア教育・地域連携、校則など今日的な課題について

- 意見1 お金のこと、税金のしくみ、株のしくみなど金融リテラシーについて勉強してほしい。社会に出て役立つこと、キャリア教育など、地域の方から学ぶことも素晴らしいことである。
- 意見2 コロナの状況下では難しいかも知れないが、平常時には地元企業でのインターンシップを行うとよい。また、市のイベント等にも積極的に参加してほしい。
- 意見3 今年度は、高校生が地域の方々と接する機会はなくなっているが、下呂市の広報「まめなかな」や掲示物等を利用して、本校生徒が頑張っている姿を発信してほしい。生徒と接した際の制服の着こなしや、元気な挨拶は、学校のよい印象につながると思う。
- 意見4 下呂市合掌村での田の神祭りを参観した。顔見知りの保護者や地域の方と話していたら、「高校の先生も池に飛び込む生徒の姿を見に来てくれる。」と嬉しそうに話す女性に会い、先生の姿を見た生徒らもとても嬉しそうだった。「地域に学び 地域と育ち 地域に貢献する生徒」という本校の目指す生徒像につながり、地域での本校の評判のよさを肌で感じる事ができた。池に飛び込んだ生徒たちは、かつての教え子で、笑顔で声をかけてくれ、とても好感がもてた。
- 意見5 90%以上の生徒が部活動に加入し、学業との両立ができていることは、社会に出て役立ちたいと思う。元気のよいあいさつができるのも素晴らしい。地域とのつながりは社会を知る上でとても大切なので、いろいろな取組を今後も増やしてほしい。

(4) その他

- 意見1 年々少子化により、地域に子どもがいなくなっている。戻ってきたい地域、住みたい地域を目指し、地域を愛する子どもを育ててほしい。
- 意見2 休業中の授業や課題についてはICT環境整備が必要なので、学校としてより整備が充実するように提言してもらいたい。
- 意見3 遅くまで仕事をしている先生は健康管理に十分気をつけてほしい。また、災害の起こりやすい季節になったので、引き続き生徒・先生の安全を第一に考えてほしい。
- 意見4 文化祭に何度か訪れたが、教室展示の案内や説明をもっと積極的にできるとよい。社会に出た時に必要なプレゼンテーション能力もつけるとよい。

6 会議のまとめ

コロナウイルス感染防止のため、書面開催となり、実際の生徒の活動を見ていただくことができませんでしたが、本校の教育方針や現状、課題について資料を見ていただき、多方面から本校に対する期待や方向性を示していただき、今後の教育活動に対して重要な指標を示唆していただきました。

下呂市内で唯一の高等学校として果たすべき役割、責任を痛感し、今後もよりよい学校づくりに努めていかなくてはならないと再確認しました。評議員の皆様には、お忙しい中貴重な意見を多数賜りありがとうございました。